

申請書記入例(留学生用)

2023年度第1期(春学期) 筑波大学授業料免除申請書<留学生用>

※申請書はA4判で両面印刷・上下一致し、1枚に収めてください。取り消し線の引かれている箇所は記入不要です。
西暦2023年 2月 X日

【要注意】

※申請者本人については、2023年4月1日時点の所属及び学年を記入してください。

申請者本人が丁寧に記入してください。
また、故意に事実と相違して記入されていたことが判明したときは、免除決定後においても免除を取り消します。
家族状況については、申請時点で把握してください。

筑波大学長 殿
学籍番号 **202100000** 入学年度 **2021**年 **4**月(入学)編入学 長期履修許可者 有()・無()
卒業・修了予定 **2025**年 **3**月
所 属 **理工** 学群 **応用理工** 学類 **3** 年次
課 程 _____ 研究群 _____ 学位プログラム _____ 年次
フリガナ **ツクーバ**
氏 名(署名) **ツクーバ**

父母等(白署)

氏 名(署名) _____ 申請者との続柄 _____

※申請者は以下のチェック項目のうち希望するほうを必ずチェックしてください。

下記の理由により、2023年度第1期分(春学期分)の 授業料免除 授業料免除及び徴収猶予 を希望します。

どちらかを選択してください。
徴収猶予を選択し許可された場合、口座振替はありません。8月末までの支払い猶予となり払込票による納付となります。なお、払込手数料・印紙税の負担が必要となります。

8月までに卒業・修了する場合は、徴収猶予を選択できません。

消せる筆記用具の使用は
厳禁

訂正の場合は、=で消す
(訂正印不要、修正液・テープは使用しないこと)

留学生については、文字に取り消し線が引いてある項目は記入不要です。

授業料免除を申請する理由【全員記入】

授業料免除を申請する理由について、該当する番号1つをチェックしてください。

●授業料免除を申請する理由(該当する理由の□にチェック)

1一般(経済的理由) 2事情(死亡) 3事情(災害) 4事情(失職) 5事情(その他)

申請の理由及び家庭の事情等(経済的理由等について本人が具体的に記入すること)

※外国人留学生も日本語で記入してください

- ・家庭の収入状況
- ・生活費を現在ほどのようにまかなっているのか
- ・経常的な収入が皆無または僅かな場合は、生活の方法

※可能な限り日本語で記入してください。

今回継続申請しない理由【全員記入】

1つ選択して○してください。

今回継続申請しない理由(※1つに○)： 前回未申請 ・ 前回特別免除 ・ 2022年度収入変更 ・ **家族数変更** ・ その他()

申請者本人の休学歴(休学がある場合のみ記入)

① 休学歴	西暦AA年BB月 ~ 西暦CC年DD月(Xか月)	西暦 年月 ~ 西暦 年月(か月)
	西暦 年月 ~ 西暦 年月(か月)	西暦 年月 ~ 西暦 年月(か月)
	西暦 年月 ~ 西暦 年月(か月)	西暦 年月 ~ 西暦 年月(か月)

②修業年限超過者(修業年限を超過している者は超過している期間を下記に記入してください。今回申請の基準日は2023年9月30日時点です。)

超過期間 X年 Yか月 参考: 超過期間=(入学してから基準日までの期間)-(休学期間)-(最短修業年限)

2023年度第1期(春学期)家計急変申請希望者(今回家計急変者として申請する場合は記入)

家計支持者 本人との続柄() 家計急変事由()

④家計急変申請の有無(※全員記入)

2022年度第1期(前々回)	有 無	2022年度第2期(前回)	有 無
----------------	-----	---------------	-----

⑤母子父子世帯(母子父子世帯の場合は記入)

母	死亡	生別(年 月)	養育費	有	無	遺族年金	有	無
父	死亡	生別(年 月)	養育費	有	無	遺族年金	有	無

修業年限超過者【該当者のみ記入】

しおりをよく読んだ上で、自分が修業年限超過者である場合は、この欄に超過期間を記入。

所属 (2023年4月1日時点)	理工	学群	応用理工	学類	3	年次
学籍番号	2	0	2	1	0	0
氏名	アマクーボ					
住所等	(〒305-8577) 茨城県つくば市天王台1-1-1			家 (〒) アメリカ合衆国××州▲▲		
本人	090-1234-XXXX			族		

本人の住所【全員記入】
 ・記入内容について確認を行うことがあるので、必ず連絡の取れる電話番号を記入
 ・家族が海外に住んでいる留学生の場合、家族住所の記入は任意。

家族及び所得【氏名、年齢、職業、勤務先・勤続年数のみ全員記入】
 【家族】
 ・申請時現在、日本に在住する家族(配偶者と子)のみ記入
 【収入金額等】
 記入しないでください

注 留学生の場合、家族数に入れることのできる者の条件は、申請時現在において日本に在住する配偶者と子に限ります。

申請者との関係	就学者を除く家族(日本に在住する配偶者と子)					
	本人	配偶者	子			
氏名						
年齢	21					
職業	無					
勤務先						
勤務年数						
給与収入金額※						
年金(老齢年金)※						
年金(障害・遺族年金等)						
雇用保険						
生活扶助(生活保護費、児童手当等)						
その他()						
計(給与収入)						
事業所得(営業・農業等)※						
地代・家賃・利子・配当※						
養育費等						
その他()						
退職金						
時所得						
所得						
計(給与収入以外の所得)						

通学区分【全員記入】
 ・留学生は自宅に○がされています
 ・主に就学しているキャンパスを○で囲む

2022年度の授業料免除結果【2022年度在学生在は記入】
 ・2022年度の授業料免除結果をそれぞれの学期について○で囲む

就学者(本人以外)【該当者のみ記入】
 ・申請時現在、日本に在住する就学者のみ記入
 ・該当する設置区分(国立・公立・私立)を○で囲む
 ・学校名は正確に記入、入学年度、学年も必ず記入
 ・該当する通学区分を○で囲む
 ・申請時現在、日本に在住する就学者でかつ2022年度に国立の高等学校以上に在籍していた場合のみ2022年度の免除状況を○で囲み、授業料免除実施状況証明書を提出
 ・授業料年額は、免除されている者のみ免除前の年額(国立大学536、国立高専235等)を記入(千円未満四捨五入)

通学区分	自学	東京キャンパス	入学料免除申請の有無(2023年度)	有・無	入学料納付額(2023年度)	千円
2022年度授業料免除結果	第1期(春学期) (全免・半免・○除 ・2/3免除・不許可・未申請)	第2期(秋学期) (全免・○ ・2/3免除・不許可・未申請)	授業料納付額(2022年度)		千円	

奨学金【該当者のみ記入】
 ・給与の奨学金(返済の義務がないもの)のみ記入
 ・給与奨学金名を記入
 ・受給額については2022年度に受給している奨学金の受給(見込)額(年額)を記入⇒収支状況申告書(様式1)に給付奨学金の月額を記入している場合、この欄に給付奨学金の名称及び年額を記入

給付奨学金名	例 ■ 奨学財団	受給(見込)額(2022年度額)	360					
続柄	氏名	年齢	設置区分	学校区分	通学区分	2022年度見込(国立学校就学者のみ)授業料免除状況	授業料納付額	536
夫	アマクーボ	22	公立	○大学 (2019年度入学 4年)	自宅	無・全免	無・全免	6

特別控除【該当者のみ記入】
 ・該当する項目がある場合は○で囲み、必要事項を記入
 ・証明書類を必ず添付(証明書類が無い場合、控除は受けられない)

障害者のいる世帯	続柄() 氏名()	障害者・要介護3以上	障害者年金	有・無
長期療養者のいる世帯	療養期間 年 月 から 年 月 まで	療養費 計 千円	療養者年金	有・無
主たる家計支持者が別居している世帯	別居先住所	別居の期間	西暦 年 月 から(か月)	
災害・高難等の被害を受けた世帯	被災内容	被災額(2021年1月～2021年12月)		千円

大学認定欄は、記入しないでください。

申請理由	一般	事擇(死亡)	事擇(災害)	事擇(失職)	過去に休学	有・無	支援室チェック欄
事情(その他)	家計(特例)			学力	成績	単位数	
家族数	人	独立生計者	○	無	生活保護世帯	該当	無
		多子世帯	該当	無			学生生活課
					学力特例	該当	無
					備考		